

「植物の重力依存的成長制御を担うオーキシン排出キャリア動態の解析(CsPINs)」
平成28年度 ISS・きぼう利用ミッション科学成果評価結果

代表研究者；高橋秀幸(東北大学)

総合評価

A: 目標を十分に達成した(エクストラサクセス相当以上)

当初計画に基づき、十分に研究目標を達成した。植物の根の重力屈性に関して、重力によるオーキシン排出タンパク質の局在が、重力刺激による植物の形態形成に働いていることが示され、代表研究者らの植物の重力屈性のメカニズムに関する仮説を実証した。また、水分屈性と重力屈性の関係について、新規の知見を得た。

将来の長期宇宙滞在に向け、植物成長制御方法の開発の基盤となる研究であり、本成果の応用、発展について、引き続き、検討を進めて欲しい。

平成 29 年 6 月
きぼう利用ミッション選考評価委員会(生命科学分野)